

広報 鳥海の里

題字 開成支援課かえで寮 沢 口 金 男さん

第133号 平成20年12月25日
発行 秋田県心身障害者
コロニー保護者会

保護者会事務局
TEL(0184)32-1082 FAX(0184)32-1083
生産品直売所「歩人」TEL(0184)33-4310
地域生活サポートセンター「歩人」TEL・FAX(0184)32-0123

秋田県心身障害者コロニー
秋田県由利本荘市西目町出戸字孫七山3の2
TEL(0184)33-2255 FAX(0184)33-2044

ホームページアドレス <http://www.fukinoto.or.jp/colony> E-mail colony@fukinoto.or.jp



刺し子で描く「ながま」



「松ぼっくりリース」笑顔で受賞



表彰式のひとコマ



皆で作つた折り紙人形

主な内容

- *平成20年度実践発表会.....2
- *創生支援課 生きがい活動の紹介.....3
- *地域との懸け橋.....4
- *自己評価.....5
- *授産製品の紹介.....6



平成二十年度実践児童会

去る十一月一日、コロニー一大広間を会場とし、平成二十年度実践発表会が開催されました。各支援課で取り組んできた研究の成果について、その内容を抜粋し、紹介します。

重度高齢者棟における介護予防への取り組み

續生支援記

創生支援課はコロニーの中で重度高齢者棟として位置づけられています。従つて、利用者の加齢に伴う疾病や介護量は年々増加していくことが予想されます。それに伴い、今年度の運営方針では「加齢に伴う介護予防と心身機能の低下防止に努める」ことを加え、「介護予防」という視点から、より包括的な利用者の支援を試みています。

介護予防への取り組みとして日常的に行っているものは、①毎日の健 康チェックと入浴時のボディチェック



ク ②食事の形態だけではなく、座席の位置や姿勢についての確認 ③ 每朝の掃除と消毒 ④毎食後の歯磨きと「お口の体操」 ⑤朝夕の館内歩行と「いきいき体操」を実施しています。その他にも、健康づくりや個別トレーニングメニュー、退院後の機能回復への取り組み、口腔ケア、生きがい活動を実施し、メリハリがある生活が送れるよう支援しています。また、介護予防・介護技術習得研修にも力を入れていますが、各研修が有効に活かされるためにも経験が浅い職員はもちろん、多くの職員が参加できるよう日程や勤務等の調整を行い、さらに参加できなかつた

職員への伝達方法についても検討が必要であり課題として挙げられます。これから先、確実に加齢化していく現実に向け、介護予防という観点から個別にあるいは全体的な介護予防について見直しを加えながら、実際に合った適切な支援を行うこと、そのためには機能低下が見られる利用者に対しては早い段階から回復に向けた取り組みを行うことが必要と考えられます。

実践二 「銀杏支援課重度棟に おける介護調査

銀杏支援課
主事宮田宏志

銀杏支援課けやき寮・はまなす寮
は、障害の重い方を中心いてケアに取り組み、生活の中での基本的な支援や介護に加え、医療的ケアが必要な方へのサポートを重点的に行っております。どれだけの介護量が日々の業務にかかっているか、銀杏支援課

が十八%を占める結果となりました。介護業務では、食事支援が最も多く、次いで見守り業務、オムツ交換、水分補給、入浴介助の順となりました。見守り業務が二番目に多い理由については、利用者の抱える行動障害や身体機能低下等により怪我や危険行為を防ぐ為に多くの時間を費やしている結果と考えられます。一方非介護業務で最も多いのは書類作成であり、入浴介助の時間に迫るものとなつております。

調査結果を踏まえ、利用者によりよい支援が出来るよう今後より一層努力していきたいと思います。

けやき寮・はまなす寮の全支援員を対象に介護量の調査を実施いたしました。



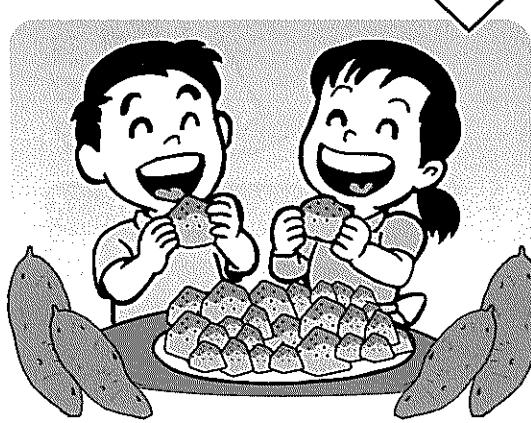
創生支援課では、生きがい活動の一環として、畑作・園芸を取り入れています。主に、環境整備の時間を利用して、課の裏の畑で観賞用のカボチャやサツマイモなどを栽培し収穫の喜びを味わうと共に、花壇にはボランティアと一緒に季節に合った

さあ、頑張って植えるぞ～

花々を植え、四季の移ろいを目
で楽しんでもらうなど、生活に
変化がもてるよう配慮してい
ます。
今回は、種植えから収穫まで、
利用者の皆さんのがんばりを紹介
します。



創生支援課



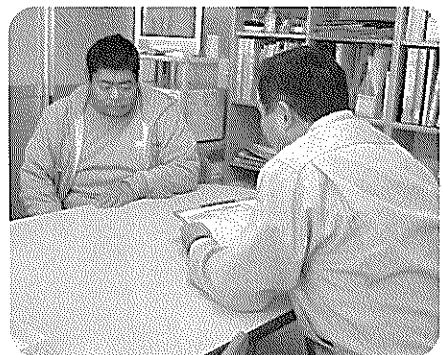
平成十八年障害者自立支援法が施行されました。この法律が目指すものは、グループホーム等の充実を図り、施設入所・入院から地域生活への移行を推進すること、障害のある方が普通に暮らせる地域社会づくりです。

当コロニーは、旧西目町内に八箇所のグループホームがあり、現在三十六名の方が生息しています。日中は地元の会社や小規模作業所、コロニーで就労B（就労支援）や生活訓練を利用されています。

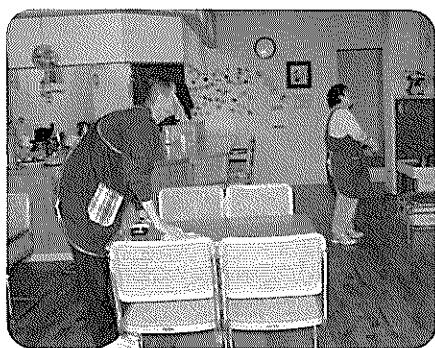
ところで、地域生活を送るためには多方面から支える人達や仕組みが必要です。例えば世話人は、毎日の食事作りや健康面の管理、金銭出納に

関する支援等、入居者さんにとり一番身近な存在です。また、地域生活サポートセンターの職員は、通院や余暇支援、日常生活の相談・助言等を行っています。しかし、世話人や職員の他に、家族や地域社会、近隣の住民、障害者団体、実際に多くの方々が入居者の地域生活を支援してくれます。

最後にグループホームは地域生活の最終の場ではあります。しかし、アパート等で生活できるよう、入居者さん一人一人に目標を持つてもらい、地域住民としての生活を支えて行ければ、と思っています。



地域との懸け橋 ～地域での暮らしを支える人々&歩人～



平成十一年六月、障害者へ理解と地域とのふれあいを求め、「歩人」がオープンしました。あれから九年。地域の皆さんに支えられ、コロニー生産品の販売と利用者の憩いの場として活用されています。

扉を開けるとボランティアさんと利用者三名が笑顔で迎えてくれます。店内には、コロニー授産棟で生産された「そば殻枕」や「軍手」、「まな板」や「コーヒーカップ」、新鮮な食品コーナーでは、取れたてのりんごや比内地鶏の卵、ハウスで育てられた花苗等が格安で販売されています。

喫茶店では、温かいコーヒーが百円。ケーキやホットケーキも好評です。仲間とのちよつとした打ち合わせや、友だちとのおしゃべりタイムに、ぜひ「歩人」をご利用ください。



・ [営業時間] 午前10時～午後3時
・ [定休日] 毎週日曜日
※新年は1月9日(金)から営業いたします。

平成二十年度自己評価を実施

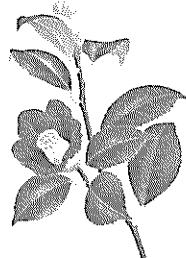
平成二十年度自己評価を八月に全職員で実施しました。その結果を踏まえ、取り組む課題をコロニー全体と各支援課ごとに設定しました。

職員一同、今後ともサービスの向上を図っていきたいと思っております。

～サービス向上をめざして～

◆コロニー全体で取り組む課題

- ・准職員の研修の充実を図るため、研修体系の整備に努めます。
- ・倫理行動基準の読み合わせ等を実施し、人権擁護について周知を図ります。
- ・地域生活移行に向け、グループホームの見学等体制づくりに努めます。



◆創生支援課

- ・利用者自身が人権意識を高められるよう、利用者への情報提供を充実します。
- ・視覚障害者等がわかりやすいような環境を整備します。

◆銀杏援課（更生）

- ・利用者の外出の際にカードの携行を励行します。

◆銀杏援課（重度）

- ・救急蘇生法の研修を課内研修に取り入れます。



◆赤光支援課

- ・社会資源の情報提供を行い、個々の利用者の意向を反映できる支援体制を構築します。
- ・重度高齢化が進んでおり、予期せぬ事態・事故が発生した場合の対応訓練に取り組みます。

◆白光支援課

- ・利用者自身の人権意識を高められるよう、利用者へ情報提供します。

◆開成支援課（更生）

- ・歯科衛生士との連携を図りながら、口腔ケアに努めます。
- ・買い物やドライブ等、定期的な外出の機会を作ります。

◆開成支援課（授産）

- ・高齢化が進み、廊下、トイレの手摺りの設置を検討します。

ご冥福をお祈りいたします	
◇保護者	◇利用者
こぶし寮	十一月十三日
はまなす寮	こぶし寮 伊藤彰午郎さん（九十歳）
こぶし寮	十一月二十八日
笠井 鈴木	はまなす寮 三浦節子さん（五十五歳）
孝子さんの母 イヨさん	
北島与三さんの母 ナカヨさん	
十二重さん	
三郎さん	

◆利用者の動き
《入所》（十一月）
開成園さくら寮
白光園かつら寮
矢野祐次さん
齊藤雅美さん
加藤勝男さん
開成園かえで寮より
開成園さくら寮

授産製品の紹介

コロニーでは、美味しいリンゴや梨、ブドウ等の果物や、比内地鶏、鶏卵、四季折々の花々、軍手、そば枕、木工製品、土鈴、皿、エプロン、袋物など、たくさんの製品を製作・販売しております。

安全、安心、真心のこもったこれら製品をどうぞ一度手に取って下さいませ。



●製品のご注文、お問い合わせは、開成支援課授産担当まで。

電話／0184-33-4535 FAX／0184-33-2846

当施設は、秋田県比内地鶏ブランド認証制度による認証事業者です。

- 地鶏生産施設 認証番号512
- 食鳥処理施設 認証番号11
- 食肉処理施設 認証番号15

(個人情報の取り扱いでは個人情報保護法に基づき掲載しています。)